

# 2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘中央学園  
湘中央医学技術専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人湘中央学園 湘中央医学技術専門学校 学校関係者評価委員会は「2023年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

## 1. 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像は明確に定められており、生徒、学生便覧、保護者説明資料、学園報等で周知はできているが、保護者との意見交換ができていないため、将来的にはEラーニングを使用して、アンケート形式で意見が聴取できる方法を検討したい。

## 2. 学校運営

自己評価は全項目において「適切」との評価をしたが、近隣住民からの苦情が度々発生しており、近隣からの学校運営の理解、信頼の確保が課題となった。特に生徒の喫煙が苦情件数としては最多だったため、外部委員からは、生徒に社会ルールの教育を徹底するよう意見が挙がった。

## 3. 教育活動

臨床検査技術学科の嘱託教員(医療機関退職者)が多く、学科全体の平均年齢が高くなってしまっている。将来の世代交代を視野に入れ新卒の教員(当初は助手)を積極的に採用・育成していくことが必要である。

## 4. 学修成果

就職率の向上が課題とされ、今後もキャリア支援室と協働で向上できるように努めていきたい。また、中途退学者が減少するよう、これまで以上に丁寧な指導をおこなっていく。

## 5. 学生支援

各評価項目において、適切に実施されていると認識している。将来的に同窓会組織のご協力をいただき、卒業生にキャリア支援室の利用ができることを周知させたい。

## 6. 教育環境

大きな問題はでていないが、最新の実習機器が少なく、老朽化が進行しているもの、製造が終了したものが多く、交換用部品の入手が困難になっている。現在、故障発生時は、他の機器から部品を移植して対応している。また、現在残る機器は、この先、故障のないよう丁寧に扱いを心がけていく。

## 7. 学生の受入れ募集

高等学校への情報提供、学生募集活動は昨年と同規模で行っていたが、今年度は入学定員に対し、入学者が非常に少ない結果となってしまった。学園としては、重大な問題だと認識しており、全教職員は現状の把握、原因の精査に努め、次年度の入学者数を増やすよう取り組んでいく。特に、従来はなかった新たな発想、方法で広報イベントを計画し生徒獲得に努める。

外部委員より臨床検査の専門学校は入学が減少し、高校生は大学志向となってしまい、そもそも検査技師を志望する高校生が明らかに減っている。今後は、他の専門学校にない湘央の特色をもっと表に打ち出すべきでないか、さらには、検査技師の将来性をPRして、検査技師になりたい高校生を増やすべきではないかとの指摘があった。

さらに、今回の入学者減にとともに、経営面の影響についても指摘されていたが、今後、グループ校の不採算学科が閉鎖され、その分の赤字額が解消され、学園全体では当面、資金面において心配はないと考えられる。

## 8. 財務

特に大きな問題はなく、健全にすすめられている。また、決算終了後は財務状況を学園ホームページ内で適切に公開されている。

ただし、入学者減に伴う減収の影響は大きく、広報活動の充実化、中途退学者の阻止、他にも身近な経費削減策を推進し、経営の安定化を図っていく。

## 9. 法令等の遵守

所轄官庁への定期報告義務、職業実践専門課程として評価結果の公開義務があり、いずれも適切に実施されている。

## 10. 社会貢献・地域貢献

オープンキャンパスにおいて、希望する生徒に来校者の案内役を行ってもらっている。今後は外部組織にもご協力をいただき、学外のボランティアに積極的に参加してもらおうようにしていきたい。